

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 井谷、SL 義間、大川、桐原 (計 4 名)

2. 山城／ルート 北アルプス・明神岳～前穂高岳

3. 交通手段 自家用車 1 台

4. 行動記録

●2017 年 10 月 7 日(土)

6:30 頃 尼崎タイムズライフ集合 (雨)

12:00 あかんだな駐車場到着、昼食 (曇り、時折日がさす)

13:00 準備後、上高地出発～明神橋 (標高が上がるにつれて雨になった)

16:00 ひょうたん池着、テント設営 (泊) (深夜まで雨)

●2017 年 10 月 8 日(日) 晴れ※

4:00 起床・テント撤収

5:20 ひょうたん池出発

6:00 第一階段岩登り

9:20 明神岳バットレス

10:00 明神岳主峰到着

12:00 前穂高岳着、昼食

12:20 出発

15:00 岳沢小屋着

17:00 上高地着

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

・登山開始日(10/7)が雨予報だった為、数日前よりメンバー間で出発日と行程の見直しをメールにて相談

・10/5(木)夜 L より出発日の変更(10/6 夜発→10/7 朝発)と行程変更について提案あり。ひょうたん池後は状況により判断すると参加者間で決定。エスケープルートがいくつかある為、行程変更を検討する余地は十分あると判断。

・10/8(日)可能ならば奥穂高岳～西穂～天狗の科尔から下山の計画であったが、前穂の到着時間からの行動時間を考えると日没後になり危険と判断し、前穂よりそのまま岳沢に下山。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

・4名での行動であったが、メンバーの間が空いてしまった為、意志疎通が難しくなってしまった。万が一、事故などが起きた時に対応が難しくなった可能性がある。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

・歩荷トレーニング、岩登りトレーニングを実施してしっかり体力をつける。

・一日目は雨の中の行動であった為、テントや装備がビショビショに濡れた。寒さなどにも対応できる様に体調管理に気を付ける。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・3連休の上高地はかなり賑やかであったが、明神橋を過ぎてしばらくすると誰もいなくなった。信州大学の研究小屋からはしばらくヤブ漕ぎが続く。道は比較的明瞭でテープあり。

・藪漕ぎが終わると急斜面になり不安定なガレ場が続く。岩雪崩が起きやすいほどの不安定さで何度か滑りかけた。十分に気を付ける事。

・2050m付近を目安に東側斜面にトラバースする。目印は東側に白い砂地の岩肌が見える辺り。これを見過ごして直登してしまったため、岩場でのトラバースが待っていた。下まで戻るよりマシかということになり渡った。

・ひょうたん池は本当にひょうたんの形をしており、大きな水たまりという感じ。お水は飲めそうにないです。池のすぐ横にちょうどテント1張分の整地されたスペースがある。見つけた時は嬉しかった。

・第一階段は3級程度の岩場で、ロープがかけられていた。

・その後はしばらく岩登りと藪漕ぎが続く。ロープは出さず。ハイマツが顔にチクチク刺さり、枝かなにかで腕を擦りむいた。

・バットレスは左に巻いたら少し易くなる。ロープ使用。今回、クライミングシューズを持参したが、リードの大川さん以外は使わなかった。

・明神岳は静かで誰もおらず、上高地のにぎわいが嘘のようだった。静かな山登りを楽しむにはいい山です。

・明神岳から前穂までの下降路ではfixロープを持ちながらクライムダウンした。懸垂下降だと30m位か。懸垂下降の支点有。

・前穂山頂迄は岩場の登り返しだが、切り立った箇所はなく、これまでの道のりよりは歩きやすいと感じた。

・前穂山頂からは、ジャンダルム、西穂、奥穂、槍、八ヶ岳連峰、南・中央アルプス、白山が360°見渡せる絶景であった。美しい稜線がどこまでもはっきり見え、雄大で感動した。また、岳沢の紅葉は黄金色に輝いており大変美しかった。(…らしいが、私はヘトヘトであった為全く記憶にございません)



ひょうたん池



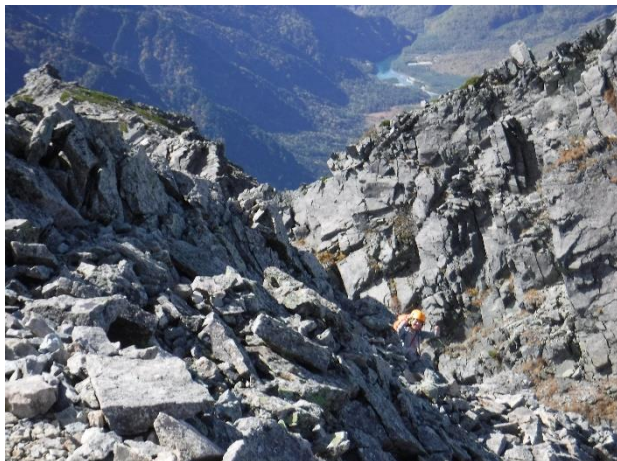
第一階段



明神岳主峰、斜め左の立った一枚岩がバットレス



バットレスをリードする大川さん



主峰直下のガレ場



明神岳山頂にて。桐原さんと私の間にちっちゃく見えるのが前穂です。



右後ろの山が明神岳。懸垂下降もあの下部あたりです



前穂到着。槍ヶ岳がきれいに見えました。



黄金色の岳沢



最後に。月光に浮かびあがる明神岳。静かで幻想的でした。

報告者 2017年 10月 14日 義間美和子